



芸能発表では大正琴、日本舞踊、レクダンス、バレエなどが披露されました。商工会有志によるゴリエのペコリナイトで会場は大爆笑「ヨロコビ〜！」。

## 芸 浦幌女性あいフェスティ 能発表などで交流

3月5日に第30回浦幌女性あいフェスティが中央公民館で開かれ、芸能発表や作品展示などで交流を深めました。

会場では、地場産の農産物や手づくり食品などのフリーマーケットのほか、町消費者協会による寸劇と講演、木工教室、そば打ち同好会の実演などが行われ、大勢の来場者で賑わいました。

## 生 第26回厚内公民館まつり 涯学習の活動成果を披露

2月25日・26日の両日、第26回厚内公民館まつりが行われました。公民館の1階には絵画や書、生け花、陶芸など各サークルの会員と地元の児童らが自慢の作品を出品。25日は、地域の活性化を目指した地域づくりフォーラムが開かれ地域住民約60人が参加しました。26日は踊りや合唱、園児らの遊戯などが披露されました。



フォーラムで講演した帯広大谷短期大学の池添教授。

受章を喜ぶ、福田さん(真ん中)と長男和雄さん夫妻。



## 地 元町議会議員の福田正治さん叙勲を受章 方自治の発展に尽力

2月23日、元町議会議員の福田正治さんに対する高齢者叙勲(旭日単光章)の伝達式が行われました。福田さんは、1971年に町議初当選。3期12年にわたり地方自治の発展に貢献。議員として以外でも民生委員や町遺族会会長などを務め、さまざまな行政活動へ尽力しました。この日は横田実十勝支庁副支庁長が訪れ、福田さんに勲記が手渡されました。

## おしらかば保育園でひなまつり 年寄りと触れ、優しい気持ちを

3月3日、養護老人ホーム「ラポロ」の入所者が、しらかば保育園を訪れ、園児らとひな祭りを楽しみました。

会場のお遊戯室では、園児らが「うれしいひなまつり」の合唱と折り紙や牛乳パックで制作したかわいらしいひな人形を披露した後、交流するゲームが行われました。



お年寄りたちは「子どもたちの元気いっぱいの歌声を聴いて若返った気がする」と笑顔。

日ごろの活動が評価された浦幌小学校獅子舞クラブ。



## 浦幌小学校獅子舞クラブに教育活動表彰 さらに活動を継続していきます

2月24日に浦幌小学校の獅子舞クラブが、十勝教育局の平成17年度十勝管内教育活動表彰を受賞しました。同クラブは長年にわたり、町無形民俗文化財に指定されている浦幌開拓獅子舞の伝承活動に取り組み、文化祭での発表や養護老人ホームなどの社会福祉施設へ訪問するボランティア活動が評価されました。

## ごみの不法投棄が後を絶ちません みを捨てないで!

町内外からごみを不法投棄する方によって、わたしたちの住むまちの美観が損なわれ、自然環境にも大きな影響を与えています。

ごみを河川や山林などに投棄した場合、最高で罰金1,000万円、懲役刑5年が科せられます。不法投棄を目撃した場合には役場町民課生活環境係(TEL 576-2111 内線 112・132)までご連絡ください。



心ない方によって捨てられた廃棄物(3月20日撮影)。

ヒグマの生態を紹介する佐藤さん。



## ヒこどもヒグマの学校 グマの生活を学ぶ

3月19日にヒグマの生態などを学ぶ「こどもヒグマの学校」が浦幌町博物館で開かれました。

冬眠から覚めるこの時期にクマの生態を知るのが目的で、講師は日本大学助手の佐藤喜和さんと浦幌ヒグマ研究会の会員らが務めました。クマの糞から採取した食物などを見ながら、食べているもの、遊びなどクマの暮らしぶりを学びました。